

# 本学看護学科学生の学校及び看護学科選択理由の検討

—本学看護学科3期生と2期生の入学時調査を比較して—

酒井志保<sup>1)</sup> 大島弓子<sup>2)</sup> 滝内隆子<sup>3)</sup> 佐々木真紀子<sup>4)</sup> 南雲美代子<sup>5)</sup>

## **A Study on the Motives of Applying Our College and the Specialty Choice of the Student Nurses :**

The Comparison between the New Students of the Second School Year and the Third School Year

Shiho SAKAI Yumiko OSHIMA Takako TAKIUCHI Makiko SASAKI Miyoko NAGUMO

抄録：日本赤十字秋田短期大学（以下、本学とする）看護学科3期生80人を対象に、入学時に質問紙調査を行った。併せて、同じ内容・方法で調査した2期生の結果と比較検討を行った。入学動機を知ることが学習上のニーズ把握につながると考えたためである。調査内容は、本学および看護学科を選択した理由であった。その結果、以下のことが明らかになった。

1. 本学を選択した理由は、3期生は「看護婦(士)になりたかった」が最も多く、次いで「日本赤十字だから」「県内だから」「短期大学だから」の順に多かった。この4項目は、2期生でも同様に多くあげられていた。
2. 本学選択理由2項目の組み合わせは、3期生は「看護婦(士)になりたかった」と「日本赤十字だから」が最も多く、次いで「看護婦(士)になりたかった」と「県内だから」の順で、2期生の結果と同様であった。
3. 看護学科を選択した理由は、3期生は「看護婦(士)になりたかった」「看護婦(士)の資格をとりたかった」の順に多く、2期生の結果と同様であった。
4. 学科選択理由の「看護婦(士)になりたかった」については、3期生は“やりがいのある職業”が最も多く、2期生と同様であった。

キーワード：入学動機、看護学生、学校選択、学科選択

Summary : To grasp the needs of learning for nursing education, we have made several surveys toward the new students every year since our college has been founded. The contents of the surveys were to give reasons why the newcomers chose our college and nursing department.

Eighty effective replies from the third school year students were analyzed and compared with those from the second school year. The results were as followed:

1. Students of the third school year chose our college because it is, in decreasing order, “inevitable step to be a nurse”, “founded by Japan Red Cross Society”, “in a domestic prefecture”, “junior college”. Most of students of the second school year chose these reasons, too.
2. Major couples of reason are “founded by Japan Red Cross Society” plus “inevitable step to be a nurse”, and “in a domestic prefecture” plus “inevitable step to be a nurse”.  
The second school year students were similar to the third school year at these reasons.
3. They chose the department of nursing because it is, in decreasing order, “inevitable course to be a nurse”, “inevitable step to be qualified as a professional nurse”. The second school year students were similar to the third school year at these reasons.
4. That it is why the third school year students chose “the course to be a nurse” was “a profession worthy to be engaged”. The second school year students were similar in the reason to the third ones.

Key words: Entrance Motives, Student Nurse, Choice of College, Choice of Department

---

看護学科 1) 助手 2) 教授 3) 助教授 4) 講師 5) 助手

## はじめに

学習者の学習上のニーズを反映した教育を提供することは重要である。学生の入学直後から教育にあたる基礎看護学の教員である我々にとって、学生がどのような目的で日本赤十字秋田短期大学（以下、本学とする）を選択し、看護学科で学ぶのかを決定した入学動機を知ることは、学習上のニーズの1つを把握することにつながるのではないかと考えられた。また、この入学動機は学習者によって異なると思われ、毎年、継続的に把握していく必要があるとも考えられた。そこで、我々は本学看護学科の1、2期生の学生に、入学時にその入学動機として本学および看護学科選択理由を調査し、その結果<sup>1) 2)</sup>を教授活動に活かしてきた。

今回は、これらの継続として今年度入学の3期生の入学動機を把握する目的で調査を行った。また、この結果と、同様の内容・方法で行った2期生の調査結果とを比較することで、本学、看護学科の学生のもつ入学動機の傾向が明らかになると思われたため、併せて、その検討も行った。

先行研究では、一看護大学で入学動機と看護を選択した理由の調査を継続的に行ったもの<sup>3)</sup>、また、看護短期大学で、入学を希望した理由を継続して調査した研究<sup>4) 5)</sup>がみられた。しかし、一短期大学で、学校と看護学科の選択理由を組み合わせ、継続的に調査したものはみられなかった。

なお、本研究は入学時に、3期生に実施した調査の一部である。

## I. 研究目的

1. 本学看護学科3期生の入学動機として、本学および看護学科選択理由を明らかにする。
2. 3期生の本学および看護学科選択理由を2期生と比較し、傾向を明らかにする。

## II. 研究方法

1. 対象：本学看護学科3期生で 研究に同意の得られた80人
2. 方法
  - 1) 調査方法：自作の質問紙を用いた宿題留め置き調査。
  - 2) 調査内容：調査内容は、[学生の背景] [本学を選択した理由] [看護学科を選択した理由] とし、1期生の調査結果<sup>6)</sup>を元に項目を作成

した。

[本学を選択した理由] は「日本赤十字だから」「看護婦（士）になりたかった」などの18項目から2項目、[看護学科を選択した理由] は「看護婦（士）になりたかった」などの5項目から1項目を選択してもらった。また、[看護学科を選択した理由] の中で「看護婦（士）になりたかった」を選択した人については、その理由をいくつでも選択可としてあげてもらった。

各調査内容で「その他」を選択した場合、その具体的な内容を自由記載してもらった。

## 3) 集計・分析方法：

- (1) 調査内容を各々単純集計した。
- (2) 3期生の結果と、昨年度調査を行った本学看護学科2期生の調査結果<sup>7)</sup>とを比較、分析した。なお、この2期生の調査は、平成9年4月に今回と同様の質問紙を用いて行ったものである。以下、この2期生の調査結果は本学紀要 NO. 2, p.34-36,1997.を引用する。

3期生と2期生の両者の差を明確にするため、 $\chi^2$ 検定を行った。

## 3. 調査期間：平成10年4月15日

～平成10年4月16日

## III. 結果

### 1. 3期生の結果

#### 1) 有効回答者数：80人

#### 2) 回答者の背景

##### (1) 年齢

「18歳～19歳」が78人 (97.5%)、「20歳以上」が2人 (2.5%) で、大半が18歳～19歳であった。

##### (2) 出身地

「秋田県」が67人 (83.8%)、「秋田県外」が13人 (16.2%) で、多くは秋田県出身者であった。

### 3) 本学を選択した理由

#### (1) 本学選択理由

[本学を選択した理由]は、表1に示すとおりで、「看護婦(士)になりたかった」が最も多く、次いで「日本赤十字だから」「県内だから」の順であった。

「その他」の自由記載の内容は、“日本赤十字の委託生になれるから”など、学校の入試や制度の記載が2人みられた。

#### (2) 本学選択理由の2項目の組み合わせ

[本学を選択した理由]としてあげられた2つの項目の組み合わせは33通りであった。その組み合わせの内容および人数は、表2に示すとおりで、最も多かった組み合わせは、「看護婦(士)になりたかった」と「日本赤十字だから」で、次いで「看護婦(士)になりたかった」と「県内だから」、「看護婦(士)になりたかった」と「短期大学だから」の順であった。

表1 3期生の本学選択理由別にみた回答件数

(複数回答)

本学選択理由	回答件数
看護婦(士)になりたかった	43
日本赤十字だから	28
県内だから	24
短期大学だから	15
資格をとりたかった	11
編入学ができる	9
環境や設備がよかった	8
新設校だから	4
受験科目が自分にあっていた	4
学費が妥当だから	3
看護婦(士)以外の医療職になりたかった	3
この学校しか受からなかった	3
他の人に勧められた	2
教員及び教育内容がいいと聞いた	1
専門学校としての伝統が長い	0
近県だから	0
まだ就職したくない	0
その他	2
総回答件数	160

表2 3期生の本学選択理由の2項目の組み合わせ別にみた人数

	本学選択理由2項目の組み合わせの内容(総数33通り)	人数(N=30)
1	「看護婦(士)になりたかった」と「日本赤十字だから」	13
2	「看護婦(士)になりたかった」と「県内だから」	12
3	「看護婦(士)になりたかった」と「短期大学だから」	7
4	「日本赤十字だから」と「県内だから」	5
5	「日本赤十字だから」と「編入学ができる」	5
6	「看護婦(士)になりたかった」と「環境や設備がよかった」	3
7	「看護婦(士)になりたかった」と「資格をとりたかった」	3
8	「日本赤十字だから」と「短期大学だから」	2
9	「短期大学だから」と「県内だから」	2
10	「県内だから」と「資格をとりたかった」	2
11	「学費が妥当だから」と「看護婦(士)になりたかった」	2
12	「看護婦(士)になりたかった」と「新設校だから」	2
13	「資格をとりたかった」と「編入学ができる」	2
14	「日本赤十字だから」と「新設校だから」	1
15	「日本赤十字だから」と「資格をとりたかった」	1
16	「日本赤十字だから」と「その他」	1
17	「短期大学だから」と「環境や設備がよかった」	1
18	「短期大学だから」と「看護婦(士)以外の医療職になりたかった」	1
19	「短期大学だから」と「編入学ができる」	1
20	「短期大学だから」と「他の人に勧められた」	1
21	「環境や設備がよかった」と「受験科目が自分にあっていた」	1
22	「環境や設備がよかった」と「この学校しか受からなかった」	1
23	「県内だから」と「新設校だから」	1
24	「県内だから」と「環境や設備がよかった」	1
25	「県内だから」と「この学校しか受からなかった」	1
26	「学費が妥当だから」と「受験科目が自分にあっていた」	1
27	「受験科目が自分にあっていた」と「編入学ができる」	1
28	「受験科目が自分にあっていた」と「この学校しか受からなかった」	1
29	「看護婦(士)になりたかった」と「他の人に勧められた」	1
30	「看護婦(士)以外の医療職になりたかった」と「その他」	1
31	「看護婦(士)以外の医療職になりたかった」と「資格をとりたかった」	1
32	「資格をとりたかった」と「環境や設備がよかった」	1
33	「資格をとりたかった」と「教員及び教育内容がいいと聞いた」	1

表3 3期生の看護学科を選択した理由別にみた人数

学科選択の理由	看護婦(士)になりたかった	看護婦(士)の資格をとりたかった	将来、役に立つと思った	どの学科でもよかった	その他
人数(%) (N=80)	59(73.8)	14(17.5)	4(5.0)	0(-)	3(3.7)

## 4) 看護学科を選択した理由

## (1) 看護学科選択理由

〔看護学科を選択した理由〕は、表3に示すとおりで、「看護婦(士)になりたかった」が最も多かった。

「その他」の自由記載の内容は、“看護を学びたいから”などが2人、“保健婦になりたいと思った”が1人みられた。

## (2) 看護学科選択理由で「看護婦(士)になりたかった」を選択した理由

「看護婦(士)になりたかった」を選択した59人が、その理由としてあげた項目の総回答件数は190件であった。

内容の内訳は、表4に示すとおりで、「やりがいのある職業」が最も多く、次いで「人の役に立ちたい」「看護婦(士)になることが夢」の順であった。

また、1人が選択した記載件数別にみると「1～2件」が22人、「3～4件」が25人、「5件以上」が12人であった。

「その他」の自由記載の内容は、“医学を勉強したいから”“医療の発達していない地域の子供を助けたいと思ったから”“父母が病気なので助けたいと思った”“助産婦になりたい”がみられた。

## 2. 3期生と2期生の調査結果の比較

## 1) 回答者の背景

## (1) 年齢

2期生は、「18歳～19歳」が74人(93.7%)であり、3期生とほぼ同様であった。

## (2) 出身地

2期生は、「秋田県」が57人(72.1%)であり、3期生と大きな相違はみられなかった。

表4 3期生の「看護婦(士)になりたかった」

理由別の回答件数

(複数回答)

「看護婦(士)になりたかった」理由	回答件数
やりがいのある職業	43
人の役に立ちたい	30
看護婦(士)になることが夢	28
人と関わる仕事をしたかった	22
一生続けられる職業	22
自分が成長できる仕事	20
社会に貢献したかった	10
経済的に自立できる	9
看護婦(士)に向いていると言われた	1
その他	5
総回答件数	190

## 2) 本学を選択した理由

## (1) 本学選択理由

2期生の〔本学を選択した理由〕で、回答件数の多かった4項目は、「看護婦(士)になりたかった」「日本赤十字だから」「県内だから」「短期大学だから」であった。3期生の結果も表1に示すとおり同様であった。

## (2) 本学選択理由の2項目の組み合わせ

2項目の組み合わせ数は、2期生では36通りで、3期生と大きな違いはなかった。

2期生の組み合わせの内容は、「看護婦(士)になりたかった」と「日本赤十字だから」が11人、「看護婦(士)になりたかった」「県内だから」および「看護婦(士)になりたかった」と「環境や設備がよかった」が9人であり、「看護婦(士)になりたかった」と「短期大学だから」が7人であった。「看護婦(士)になりたかった」と「日本赤十字だから」、「看護婦(士)になりたかった」と「県内だから」の2つの組み合わせの内容は、3期生と同様に1位、2位で多かった。

表5 3期生と2期生の看護学科選択理由

看護学科選択理由 回答者数	看護婦(士)になり たかった	看護婦(士)の資格 をとりたかった	将来、役に立つと 思った	どの科でもよかった	その他
3期生(N=80)	59	14	1	0	6
2期生(N=79)	62	10	4	0	3

相違があったものは、以下の通りであった。「看護婦(士)になりたかった」と「環境や設備がよかった」は3期生は3人で2期生は9人であった。「日本赤十字だから」と「県内だから」および「日本赤十字だから」と「編入学ができる」が3期生では各5人で、2期生では各1人であった。

### 3) 看護学科を選択した理由

#### (1) 看護学科選択理由(表5)

2期生で多かったのは「看護婦(士)になりたかった」「看護婦(士)の資格をとりたかった」の順で、3期生と同様であった。この2項目を選択した人の割合は、3期生と2期生とでは有意な差はみられなかった。

#### (2) 看護学科選択理由で「看護婦(士)になりたかった」を選択した理由(表6)

2期生の「看護婦(士)になりたかった」の理由として選択された総回答件数は222件であり、3期生の190件と比較すると多くみられた。

内容の内訳でみると3期生・2期生とも「やりがいのある職業」が最も多かった。また、3期生で多かった「人の役に立ちたい」「人と関わる仕事をしたかった」「一生続けられる職業」は、2期生でも上位にあげられていた。

表6 3期生と2期生の「看護婦(士)になりたかった」理由別にみた回答件数 (複数回答)

「看護婦(士)になりたかった」理由	回答件数・(%)	3期生 回答者数59名の 総回答件数190件	2期生 回答者数62名の 総回答件数222件
やりがいのある職業		43(22.6)	43(19.4)
人の役に立ちたい		30(15.8)	33(16.5)
看護婦(士)になることが夢		28(14.7)	25(11.3)
人とかかわる仕事をしたかった		22(11.8)	33(16.5)
一生続けられる職業		22(11.6)	35(15.8)
自分が成長できる仕事		20(10.5)	35(15.8)
社会に貢献したかった		10(5.3)	7(3.2)
経済的に自立できる		9(4.7)	7(3.2)
看護婦(士)に向いていると言われた		1(0.5)	0(-)
その他		5(2.6)	4(1.8)

## IV. 考察

### 1. 本学を選択した理由

#### 1) 3期生の結果

「本学を選択した理由」で最も多かったのは「看護婦(士)になりたかった」であった。これは本学が看護婦育成機関であるというイメージが強いためと考える。

次に「日本赤十字だから」も多くあげられていたが、これは日本赤十字社の看護教育の評価が社会的にも認められており、本学もその関連校であるためと思われる。また、赤十字社の幅広い活動がマスメディアを通し、情報として伝わっていること、さらには青少年赤十字などの活動も体験していることもあるためと思われる。「県内だから」が多く選択されたがその背景には、3期生の8割以上が「秋田県」出身者であるために、慣れ親しんだ地域を学習の場として選択したのではないかとと思われる。

「短期大学だから」が多かったのは、専門学校よりも短期大学の方が環境が整っているためではないかと考える。また、大学・短期大学の進学率は平成8年度46.2%であり過去最高<sup>8)</sup>となっている現状から、学歴を重視する点では有利であると考えたためではないかと思われる。

## 2) 3期生と2期生の比較

[本学を選択した理由]の回答件数の多かった4項目は3期生、2期生ともに同様であった。これは、本学に対し両者とも同じようなニーズを携えていることをあらわしている。

このことから、3期生、2期生のニーズを反映する教育としては、看護婦になるための教育を充実させたり、日本赤十字であることを大切にした教育が必要であると考えられる。また、短期大学であるため本学を選択していることから、専門学校よりもより充実した人的・物的な学習環境と充実した教育内容また、幅広い教養を提供することが大切であると思われる。

## 2. 看護学科を選択した理由

### 1) 看護学科選択理由

#### (1) 3期生の結果

3期生の[看護学科を選択した理由]は「看護婦(士)になりたかった」が最も多かった。一方、少数ではあるが「その他」の中に“看護を学びたいから”という者もみられた。看護婦育成のための教育の充実の他にも、学生が広く看護を学んでいけるような教育も必要であると考えられる。

#### (2) 3期生と2期生の比較

看護学科選択理由は「看護婦(士)になりたかった」が多く、3期生と2期生は、同じ傾向があった。3期生と2期生ともに、学科を選択する場合、職業と連動してとらえている傾向があると考えられる。

### 2) 看護学科選択理由で「看護婦(士)になりたかった」を選択した理由

#### (1) 3期生の結果

「看護婦(士)になりたかった」を選択したその理由は、「やりがいのある職業」「人の役に立ちたい」「看護婦(士)になることが夢」「人と関わる仕事をしたかった」が多かった。

「やりがいのある職業」が多かったのは、看護婦という仕事の社会通念と思われる。また、身近な人で看護婦の仕事をしている人の存在や自分や家族の病気の体験時にみた仕事の内容が反映されているのではないかと推察される。

「看護婦(士)になることが夢」が多かったのは、看護婦に対して漠然とした憧れや小さい頃からの夢を持っていると思われる。

「人の役に立ちたい」「人と関わる仕事をしたかった」が多くあげられていたのは、看護婦が何をするかという関心よりも、人と向き合うことを大切にしているのではないかとと思われる。

#### (2) 3期生と2期生の比較

「看護婦(士)になりたかった」理由は、3期生、2期生ともに「やりがいのある職業」「人と関わる仕事をしたかった」「人の役に立ちたい」が多かった。

一看護短期大学で行った陣田ら<sup>9)</sup>の研究でも看護婦の入学時の職業イメージで最も多かったのが「やりがい」であった。看護婦の職業に「やりがい」を見いだすのは他校においてもみられる傾向であり、本学3期生、2期生と類似していると推察される。

本研究の限界は、一短期大学看護学科の調査であるため一般化に限界があることである。

今後の課題として、一般化するために対象とする施設を増やすこと、また継続して調査を行うことがあげられる。

## V. 結論

今回の調査により、以下のことが明らかになった。

1. 3期生の本学を選択した理由は、「看護婦(士)になりたかった」「日本赤十字だから」「県内だから」「短期大学だから」が多くあげられていた。これは、2期生の結果と同様であった。
2. 3期生の本学選択理由2項目の組み合わせは、「看護婦(士)になりたかった」と「日本赤十字だから」が最も多く、次いで「看護婦(士)になりたかった」と「県内だから」であった。これは、2期生の結果と同様であった。

3. 3期生の看護学科を選択した理由は、「看護婦（士）になりたかった」「看護婦（士）の資格をとりたかった」の順に多く、2期生の結果と同様であった。
4. 看護婦になりたかった理由は、3期生は「やりがいのある職業」が最も多く、2期生と同様であった。

#### おわりに

最後に、この研究にご協力くださった本学看護学科3期生、2期生の皆様に心よりお礼申し上げます。

#### 引用文献

- 1) 酒井志保, 滝内隆子, 佐々木真紀子, 大島弓子: 看護学生の受験理由と看護学科選択理由に関する実態—本学看護学科1期生の入学時調査から—, 日本赤十字秋田短期大学紀要, 第1号, 83-90, 1996.
- 2) 酒井志保, 滝内隆子, 大島弓子, 佐々木真紀子, 南雲美代子: 看護学生の受験理由と看護学科選択理由に関する実態(第2報)—本学看護学科2期生の入学時調査から—, 日本赤十字秋田短期大学紀要, 第2号, 33-41, 1997.
- 3) 横山美樹, 岩井郁子, 太田喜久子, 香春知永, 操華子: 聖路加看護大学入学生の看護ならびに本学の選択動機, 聖路加看護大学紀要, No.22, 72-79, 1996.
- 4) 陣田泰子, 竹内文生, 井澤方宏, 青木康子, 加城貴美子, 國岡照子, 柴原君江, 美田誠二, 大江基: 看護学生の職業に対する意識調査—開学から3年間の比較—, 川崎市立看護短期大学紀要, 3(1), 11-25, 1998.
- 5) 田中英子: 本学看護科の学生像—入学時のアンケート調査より—, 銀杏学園紀要, No.16, 103-112, 1992.
- 6) 前掲, 1), 84-87.
- 7) 前掲, 2), 34-36.
- 8) 総務庁青少年対策本部: 青少年白書(平成9年度版), 89, 大蔵省印刷局, 1998.
- 9) 前掲, 4), 22-23.

#### 参考文献

- 石本傳江, 杉本幸枝: 看護学科生の入学前の医療体験の実態と看護職業観についてのアンケート調査教育的視点を求めて, 新見女子短期大学紀要, 第14巻, 167-182, 1993.
- 寺島喜代子: 看護学生の学習意欲についての縦断的検討—1年次から2年次にかけての変化をとおして—, 看護展望, 22(10), 74-83, 1997.
- 寺島喜代子: 看護専門学校生の学習意欲と自尊感情にもたらす入学動機の影響, 福井県立大学看護短期大学部論集, 第5号, 35-43, 1997.